

平成15年度 文学部 授業計画表[syllabus]

科目名 教師論 (英文名) Theory of Teacher Development	2単位 (春 期)	(ふりがな) むらかみ すみお 担当者 村上 壽三生 e-mail murasumi2@yahoo.co.jp
授業のねらい:教師の生き方、在り方を問い、教師の存在意義を考える。 概要: 教師となる者にとって、教師とは何かを問い、自らの在り方を考え、その存在意義を問うことは、極めて重要である。今教師は、様々な問題の中で苦しみもがいている状況をも踏まえて、それを乗り越えようとする勇気や情熱を求めつつ、それらの問題を主体的に受け止めながら、教師としての生き方・在り方を考える。		
教科書:オリジナルな講義ノートで行うので、教科書は使用しない。		
参考図書: その都度、必要に応じて示すことにする。		
評価法: 文章題による筆記試験(80%)、課題レポートや授業中の発表意欲や態度(10%)、出席日数の良否(3分の2以上)を目安とする。(10%)		
具体的評価方法等: 筆記試験をもっとも重視する。その問題は、予め試験問題を含む予想問題として事前に提示する。問題の意図をよく咀嚼して、自分の言葉で文章として表現できるようにして試験に臨む。持ち込みは一切禁止。これは自分の考えをまとめる工夫や訓練に役立てる。教師の考え方を批判するのは自由。ただし自分勝手な意見ではなく、批判の論拠を示すこと。批判の自由を認め、尊重して評価する。		

【授業計画】

回 数	講 義 テ ー マ と 概 要
第1回	教育の変遷: 明治以後の日本の教育の時代的経緯と現状の教育を考える。
第2回	教育の現状: 日本の小・中学校の教師と児童・生徒の現状について考える。
第3回	教師の本質: 教師とは何か、教師の資質、教師をどう受け止めるべきかを考える。
第4回	教師の学校の人間関係: 教師と学習者・教師集団・管理職などとの関係について考える。
第5回	教師と学習者・親との関係: 教師と父母とをどう関係づけ、どう考えることが望ましいかを考える。
第6回	教師の指導力: 教師の力とは何かを考え、指導力と説得する力について考える。
第7回	教師の授業力: 授業とは何か、授業をする力を考える。
第8回	評価する力: 学習者個々を捉え、理解する力と方法を考える。
第9回	評価の本質: 評価・評定の意味と方法、またその難しさを考える。
第10回	教師の力: 教師として教育を考え推進し、授業を実践する意味と力を考える。
第11回	教師の資質: 教師として学習者の未来を考え、支える力となる勇気や厳しさや優しさを考える。
第12回	教師の組織力: 学級や教師集団を組織する意味と力とを考える。
第13回	教師の夢と誇り: 望ましい人間を育てる夢と意欲と努力、生きる喜びをそこに見いだす。
第14回	教師の社会性: 教師も広く社会を見る確かな目を持つことの大切さを考える。
第15回	最終回の授業で筆記試験。